

JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニュースレター

第22巻第1号

発行日●2014年5月12日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第48回 消費者行動研究コンファレンスの概要

<統一論題>

先端層研究：実務への応用と可能性

春の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。

第1日目には、統一論題報告、パネルディスカッション、会員総会、懇親会を予定しています。第2日目には、自由論題報告を予定しています。

－開催概要－

- 開催日程： 2013年6月14日(土)・15日(日)
会場： 和歌山大学(和歌山県和歌山市)
研究会参加費： 4,000円[学生:2,000円]
※非会員の学生は、会場受付にて学生証の提示が必要になります。
懇親会参加費： 5,000円
参加申込： JACS Web サイト(<http://www.jacs.gr.jp/>)、FAX で受け付けております。
参加申込締切： 6月2日(月)必着

[第1日目]

- 11:00 - 12:30 役員会
12:30 - 12:35 開会の辞
12:35 - 14:50 統一論題報告
15:00 - 16:30 パネルディスカッション
16:40 - 17:30 会員総会
17:40 - 懇親会

[第2日目]

- 10:30 - 12:00 自由論題研究報告 I
12:10 - 13:00 昼食休憩(編集会議)
13:00 - 15:00 自由論題研究報告 II
15:00 - 15:10 閉会の辞

— 統一論題 —

「先端層研究：実務への応用と可能性」

先端層の研究は、革新者である「イノベーター」の研究や、世相を広める「オピニオン・リーダー」の研究など、昔からずいぶん行われてきました。商品の売上や情報の拡散の面で、彼ら先端層の反応が役立つと考えられていたためです。実際、新製品の普及率予測にはイノベーターとイミテーターが役立つことが、Bass を筆頭とする普及論研究からは示され、現在までも脈々とその系譜での研究が続いていますし、情報を広めていく上ではオピニオン・リーダーがきわめて重要な役割を果たすことも、数多くの実証研究から明らかにされ、現在でも応用されています。

それらの先駆的な研究に加えて、市場全体の動向を商品カテゴリ関係なく把握できる「マーケット・メイブン」、消費者とともに新製品を開発する「リード・ユーザー」、新製品の需要予測ができる「目利き」など、新たな概念が先端層研究では次々と生まれています。また、先端層から一般の人への拡散には「キャズム」を越えなければならない、といった、新たな派生概念も登場し、実務の世界を賑わせています。特にインターネットが発達してきた 2000 年以降、ネット上での情報伝達や情報拡散に多くの研究者の関心に移り、その過程で先端層が重要な役割を果たすことが示されてきたことが、研究の増加に拍車をかけているように思われます。以前と比べて、情報感度の違いが消費者間で大きくなり、感度の高い人とそうではない人の違いが明確に識別できるようになってきたのも、研究の進展に役立っているのかもしれませんが。情報化がますます進んでいく現代社会では、消費者行動研究の一つの分野として、今後も発展する余地の大きい領域だと思われます。

今回は、そのような現状を踏まえて、先端層研究の最前線を探るとともに、実務でどのように応用されているのか、また今後どのように活用されるべきなのかを、4 人の先生方から話題提供という形で示してい

清水 聰（慶應義塾大学）

ただき、考えていきたいと思っております。話題提供者は、先ごろ先端層研究を書物としてまとめられた、慶應義塾大学の山本晶先生、ネット上の消費者間のつながりを実務で活用されている、株式会社トライバルメディアハウスの池田紀行さま、コミュニケーション型生活者という新しい先端層概念を実践している、大日本印刷株式会社の福井正子さま、先端層だけではなく非先端層までも研究し実務に生かしている、株式会社読売広告社の上野昭彦さまの、4 名です。加えて、パネルディスカッションの際には、明星大学の寺本高先生からも話題を提供していただく予定です。研究面と実務面、両方から含蓄のある最新のお話を伺えることになっております。

一口に先端層の研究と言っても、幅広い領域にまたがっており、消費者行動の研究者なら、どこかに絶対自分の研究と関連付けられる部分が発見できることでしょう。また、今まで考えてもみなかった新しい切り口が浮かぶかもしれません。それが一番皆様には刺激になり、興味の沸く部分だと思います。非常に豪華なメンバーを揃えたカンファレンスですので、是非多くの会員の方にご参集いただき、活発な議論がなされれば幸いです。

「意思決定の科学」は、古くから言われている言葉であります。2002 年のカーネマンのノーベル経済学賞受賞以降、神経科学的研究や数理解析的研究を含んだ研究を指すようになり、近年では、ハーバード大学やコロンビア大学など「意思決定の科学（decision science）」を標榜する研究室や研究所が世界中に増えています。「意思決定の科学」というときには、眼球運動解析装置や行動分析的的手法を基にした人間の意思決定行動の微視的解析や実験心理学的研究、それから、fMRI（核磁気共鳴計測）、などの脳活動の計測装置を基にした神経科学的研究とその数理的解析などが近年ではその中心になってきています。

学会賞選考結果のお知らせ

第 47 回消費者行動研究コンファレンスにおいて、学会賞各賞の選考結果が発表されましたが、今回は下記の結果になりました。

日本消費者行動研究学会優秀論文賞：該当なし

日本消費者行動研究学会研究奨励賞（青木幸弘賞）：該当なし

第 14 回 JACS-IBM 論文プロポーザル賞募集中

募集の詳細については、Web サイト（<http://www.jacs.gr.jp/application/index.htm>）をご覧ください。（応募締切：5月26日）

審査枠に若干余裕がありますので、5月26日（月）まで 募集を延長します。

受賞賞金 総額 50 万円！ 若手会員の皆様の応募をお待ちしております！

日本消費者行動研究学会では、若手研究者の研究支援ならびに学会の研究促進を目的とした JACS-IBM 論文プロポーザル賞を設けています。本賞は、既に完了した研究ではなく、これから行われる研究に関するプロポーザルを評価対象とします。本賞には、過去に受賞（最優秀賞・優秀賞とも）履歴がなく、大学院修士在学中または修了後 5 年以内の JACS 学会会員であれば、どなたでもご応募頂けます。

本賞は若手研究者の研究支援ならびに学会の研究促進を目的としますので、指導教官や研究室の他のメンバーなどの応募対象者以外の方は、研究協力者となります。また受賞者は受賞研究が完了次第、JACS 学会誌『消費者行動研究』への投稿をお願い致します。

受賞賞金の総額は 50 万円（最優秀賞 1 点 30 万円、優秀賞 2 点 10 万円）です。応募された研究は、まず 2014 年春のコンファレンスにおける審査委員会で審議されます。そして選出された研究について、2014 年秋のコンファレンスで研究結果の報告が行われ、役員会にて最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点が選ばれます。

なお、2013 年から「JACS 論文プロポーザル賞」の名称が「JACS-IBM 論文プロポーザル賞」になりました。それに伴い、IBM 社からの副賞が設置されることになりました。

第 14 回 JACS-IBM 論文プロポーザル賞へ応募を希望される方は、下記の要領に従い、e-mail にてお申込み下さい。多くの若手会員の方からの応募をお待ちしています。

日本消費者行動研究学会 事務取扱

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F

一般社団法人 学会支援機構内

Tel: 03-5981-6025 Fax: 03-5981-6012 Email: jacs@asas.or.jp

学会費の「銀行振込み」についてのお願い

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。就職や異動などの慌しさが一段落したらで結構ですので、お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記いただく方がおりますが、手続上、データベースの修正は年度末となってしまいます。変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。なおホームページからもお手続きいただけますので、ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

●入会資格**[学会会員]**

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学会会員 2 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●年会費

[学会会員] 10,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円
法人会員 1 口 50,000 円

●日本消費者行動研究学会(JACS)事務局のご案内●

(事務局) 青山学院大学 経営学部 久保田研究室
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
Email: kubota@aoyamagakuin.jp

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F
一般社団法人 学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025 Fax: 03-5981-6012 Email: jacs@asas.or.jp